

◀ 神奈川工科大学附属図書館利用案内

ほんばこ

March 2008

特集①

特集②

ホノとわたし
図書館を使おう！



「わからない」から 未来がある

ほんばこインタビュー

畑 雅博氏

ハタ マサヒロ(1968年/昭和43年 電気工学科卒業)

1948年3月生まれ。1963年、幾徳工業高等専門学校(現 神奈川工科大学)入学、1968年卒業。東京報知機株式会社(現 ホーチキ株式会社)入社。
現在、ホーチキ株式会社常勤監査役(<http://www.hochiki.co.jp/>)、JABEE対応外部評価委員(<http://www.jabee.org/>)

— まず、畑さんの学生時代を教えてください。

入学は昭和38年。学科は電気工学科でした。高専の第1期となります。

まだ上野に蒸気機関車が走っていたと記憶しています。東京オリンピックの前年ということもあり、日本中が「みんなで頑張っていこう!」というなにか一致団結した気運がありました。

私は寮に入り、いろいろな人と出会い、色々な事を得ることが出来ました。昭和43年に卒業し、現在のホーチキ株式会社に入社しました。

— ホーチキ株式会社と入社後の生活を教えてください。

ホーチキ株式会社はわが国最初の火災報知機メーカーとして1918年に東京報知機株式会社として設立されました。現在では火災報知機だけでなく消火設備、セキュリティ関連装置、ネットワーク関連の事業なども手がけています。神奈川工科大学の情報学部等にも、弊社の火災報知・消火設備及び電波障害に関する装置が使われていますよ。

入社後は営業に配属され、大阪勤務を20年努め、東京へ戻ってまいりました。専務取締役営業本部長をへて、2006年6月に

監査役に就任しました。

営業の時は、電気工事会社や設計事務所などへの企画提案セールスを中心に行っていました。変わったところではトンネル関連の火災報知・消火設備を導入したこともあります。

— 今年、現在の図書館ができてから25年となります。当時の図書館はどうでしたか？

当時は図書館が別棟でなく、一般教養棟の中に入っていました。教室3つ分くらいのスペースで、現在のように立派なものではありませんでしたが、寮生だったこともあり「自分の時間」を過ごすことのできる貴重な場所でした。毎日とは言いませんが頻繁に、リラクゼーションスペースとして利用していました。

当時の学生にとっては「本は貴重なもの」でしたので、無料で好きなだけ本が読めることが、非常にうれしかったのを記憶しています。

— 畑さんは図書館ではどのような本を読まれていましたか？

情報収集のための新聞や、好きな作家の本を読んでいました。また、卒業論文のテーマが「新幹線のATC」に関してなので、企業からのテクニカルレポートなどを読み、最新の情報を知り、一人前のエンジニアを気取っていました。

今は、インターネットがありますから最新の技術や機械をすぐに検索できるようになりましたけど、当時はテクニカルレポートが唯一の情報源でしたので、非常に役立ちました。

— 現在、学生の「活字離れ」が増加しています。どう思われますか？

そうですね、私が学生の頃は日本全体が活字を要求していたから、本を読むことが贅沢の一つだったんです。

その当時と比較はできませんが、確かに学生時代には勉強や研究をしたり、様々な人に会って話をしたり、遊んだりすることも大切だと思いますが、時間も場所も提供される学生時代にこそ多くの本に触れることが非常に重要だと感じます。社会人になれば、かなり制限されてしまいますから。乱読でもいいので今だからこそ活字に触れてほしいですね。

— 畑さんのオススメな本はありますか？

本来であれば、理工関連の本を薦めるところでしょうが、私はちょっと違った観点から、高杉良や城山三郎、松本清張の本をオススメします。



特に、高杉良の「生命燃ゆ」や「祖国へ、熱き心を」、城山三郎の「男子の本懐」がオススメです。

これらの本は、一つのプロジェクトを成功へと結びつける過程とそこにある人間関係を克明に描いていて、会社や社会のしくみを垣間見ることができます。そこには、学生時代には想像できなかった色々なことが日常的に起こっています。私も社会人になって初めて知りましたから。

松本清張の本は、当時の私の指導教授がスズメていました。松本清張の小説には度々、手紙のやり取りが出てきます。このやり取りにある文例が、社会に出てから役立ちました。推理小説を楽しみながら社会勉強もできてしまう、非常に有能な本です。

本を読むことで日本の独特な文化や生活習慣、社会を少しでも知ることができます。しかも図書館を使えば無料で(笑)。

— 最後に後輩である神奈工大の学生へ一言お願いします。

皆さんは今、青春の真っ只中の青年です。この「青」という言葉の意味は、「わからない」ということだとある本で読みました。つまり皆さんは、まだどの色にも染まっていない「わからない」存在だということです。勉強・研究をし、沢山の友人をつくり、付き合い、色々な話をしながら人間形成をしていく場が大学だと思います。

さらに「本を読む」ことで、自ら知識を吸収し、より広い見識を持つことで、これからの人生がより楽しくなると思います。

今がチャンスです。自由な時間と無料の場所と設備を存分に利用してください。

— お忙しい中、ありがとうございました。



『祖国へ、熱き心を』

高杉 良

○世界文化社・刊

「東京にオリンピックを……」戦争により混乱した日本発展のため、「東京オリンピック」という悲願を叶えようと、全てをなげうち五輪誘致を目指す米日系人実業家、フレッド・和田勇の奔走する姿を描いた、ドキュメント・ノベル。

〈請求番 913.6||T||1〉



『男子の本懐』

城山 三郎

○新潮社・刊

緊縮財政と行政整理による「金解禁」。それは近代日本の歴史のなかでもっとも鮮明な経済政策といわれている。第一次世界大戦後の慢性的不況を脱するために、多くの困難を克服して、昭和五年一月に断行された金解禁を遂行した浜口雄幸と井上準之助。性格も境遇も正反対の二人の男が、いかにして一つの政策に生命を賭けたか、人間の生きがいとは何かを静かに問いかけた長編経済小説。(新潮社ホームページより引用)

〈請求番 094||S||S.S〉



『松本清張全集』第30巻 所収

『日本の黒い霧』

松本 清張

○文藝春秋・刊

戦後、GHQ占領下の日本で起きる、下山事件を始めとした数々の怪事件。松本清張はそれらの事件に関連する資料を丹念に調査し、事件の真相を推理してゆく。国民に『知る権利』などなかった占領下の日本で起きた事件の裏では、どのような陰謀がうごめいていたのか。戦後日本の暗部に迫る名作。

〈請求番 918.6||M||30〉

特集2 図書館 を 使おう!



ほんばこ座談会 図書館は みんなのもの

座談会参加者

教授：松本教授（図書館長）
 学生：橋本（応用科学1年）
 田中（情報科学学科3年）
 山重（情報メディア3年）
 スタッフ：河野（図書館員）
 司会者：相川（図書館員）

本、資料、勉強、憩い…… 図書館の使い方も様々です。

司会：皆さま、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。今回は皆さまの図書館利用状況をお聞きし、またご意見もうかがい、更に良い「図書館創り」に活かしたいと考えております。

さっそく、はじめましょう。皆さまはどのように図書館を活用されてますか？

橋本：月に1～2回、レポート制作の資料探しなどで使っています。

す。確かにインターネットでも調べることは可能ですが、昔の資料や詳しい情報はあまり掲載されていないので。

司会：なるほど。田中さんもやはり資料探しでご利用いただいているのですか？

田中：僕も平均すると月に3回程度ですが、試験の前後などは頻繁に利用しています。それと、授業の空き時間などには地下1階のフリースペースで友達としゃべったりしています。飲み物も飲めるようになりました。

スタッフ：去年（07年）より設置されたスペースです。実際に活用されている人の声を聞くとうれしいですね。

データベース

図書館では、文献（論文や解説的文章）を検索するためのデータベースを用意しています。

最近では、googleなどのような検索エンジンでも学術情報を検索できるようになっています。しかし、検索エンジンには学術情報以外のデータまでヒットしてしまったり、内容が正確かどうか判断しかねるといった欠点があるのも事実。その点、データベースは正確な情報源しか採用しませんし、検索条件を細かく設定できたり、abstracts(内容の要約)やキーワードを付与したりといった付加価値があります。検索エンジンだけでなく、データベースを合わせて使うことで、手に入る情報の質がより向上することは間違いなし。

本学の図書館では下記のデータベースを提供しています。ぜひご利用ください。

J-Dream II

国内外 50 カ国の、科学技術・医学・薬学に関する論文情報を日本語で検索できるという優れ者。検索だけでなく、論題や ABSTRACTS（論文内容の要約）も日本語で見られるため、非常に使い勝手のよいデータベースです。



聞蔵Ⅱビジュアル

朝日新聞・AERA・週刊朝日の記事全文を検索・閲覧することが出来るデータベースです。実際の記事が収録されているので、過去の事件やニュースを簡単に検索することが出来る便利なツールです。



司会：山重さんは図書館でアルバイトをされているので、利用(?)はほぼ毎日(笑)？

山重：確かに僕はヘビーユーザーですね(笑)。本の選び方もちょっと変わっていて、返却されてくる本から面白そうなものを選んでいきます。ですので、借りるジャンルがバラバラです(笑)。また3年ですので、就職用の資料やハウツー本なども借ります。ネットよりも本のほうが分かりやすく感じますので。

司会：皆さんそれぞれにご活用していただいているようで、嬉しい限りです。

次に、図書館にあるパソコンは使われたことはありますか？

田中：自分のパソコンがあるのでインターネットはあまり使いませんね。

橋本：図書館で調べものをしているときに、本との照らし合わせにネット端末を使います。

司会：図書館のパソコンは、インターネット端末としてだけでなく、書籍検索や電子ジャーナルなどのデータベースとしても使用できることを知っていますか？

スタッフ：データベースの機能は図書館でのみご利用可能なお得な機能です(笑)。

田中：確かに、何気なく2階の文献検索は使っています。

橋本：パソコンで文献検索すると意外な場所に置いてある場合があるので、自分で調べるよりも効率的です。

スタッフ：図書館の書籍は独特なカテゴリーで分類されているので、必ずしも同じテーマのものが固まって置いているとは限りません。検索をご利用いただくとスムーズにお目当ての文献を探せると思います。

山重：バイトをしていると文献検索をされている方は沢山いますが、電子ジャーナルはあまり使われていない気がします。私もその一人ですが(笑)。

松本：日本語雑誌の電子ジャーナル化は他国に比べ、かなり遅れています。そのせいもあって学生はあまり使わないのかもしれませんが、今後はどんどん電子化される予定になっているので、皆さんも使いやすくなると思います。

司会：図書館で新聞記事の検索もできるのですが、皆さんご存知でしたか？

橋本・山重：いいえ、知りませんでした。

田中：僕は知っていますよ。……実は松本先生にこの前の授業で教えていただいたばかりで、それまでは全く知りませんでしたけど(笑)。

スタッフ：新聞記事検索は就職活動にも役立ちます。希望する企業の記事などが参照できますので。

また、文献検索では「J-Dream II」がかなり優れています。主に科学系の文献検索ですが、引っ掛かりが良いので、自分の研究内容とぴったりのものが簡単に見つかると思います。検索方法が分からない場合は、解説した冊子もありますし、カウンターに来ていただければご説明いたします。

例えば学内に無くても、他大学からの資料取り寄せもできます。時間だけでなく、そこまでの交通費も削減できますよ(笑)。

松本：学生には、こういった文献検索や記事検索、電子ジャーナルを活用してほしいですね。

例えば「聞蔵」という朝日新聞社の記事データベースは契約するのにお金がかかります。図書館にすれば検索はもちろん、入館料も無料です(笑)。神奈工大学の特権のひとつです。

その日のうちに分からないものは図書館に来て、インターネッ



マガジンプラス

専門誌に限らず、一般誌、大学紀要、論文集など雑誌記事を検索することができるデータベースです。国立国会図書館の雑誌記事索引ではカバーしきれない情報も収録されています。



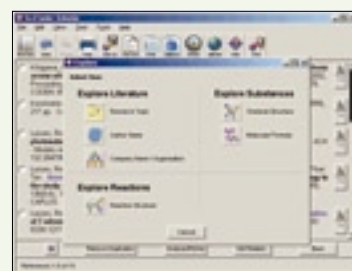
GeNii

NII(国立情報学研究所)が提供する学術情報のデータベース。雑誌論文、書籍、科研費などの情報をまとめて一つの画面で検索できます。



SciFinder Scholar

アメリカ化学協会が提供する世界最大の有機物質・無機物質情報のデータベース。他のデータベースとは異なり、ご自分のPCへダウンロードして使うようになっています。



※いずれも学内LANに接続しているPCのみ利用可能です。



ト端末やデータベース検索で調べ納得する。さらには、週に1回きて、その週で分からないことはインターネットだけでなく文献データベースを使用し、目的の本で調べる。疲れた時はリラクスペースとしてDVDなどを観る。これが理想的な「学生の図書館利用法」です(笑)。

それは冗談としても、図書館に来るだけで色々なことを楽しめると思います。

気付いていますか？ 図書館の努力。

スタッフ：松本先生がおっしゃっていたDVDなども充実しています。グループで閲覧できる部屋やボディーソニックという振動が伝わる椅子など、他の図書館ではあまり置かないものも導入して、「憩いの場としての図書館創り」にも力を入れています。

また、DVDの購入希望があればなるべく反映したいと思っています。

司会：確かに他大学の図書館に比べ、図書館の面積も広いですし、グループ閲覧室やフリースペースなど“ひらかれた”図書館だと思います。

山重：結構特異なんですね。ここの図書館でしかバイトしていないので分からなかった(笑)。

松本：実は夜も9時まで開館しています。知っていましたか？

橋本・田中：え～！知りませんでした。

松本：「もっともっと研究したい」という学生の要望があれば、24時間開館も検討できますよ。

全員：それはまた今度(笑)。

司会：皆さまの要望があればこれからもどんどん図書館は進化していきます。要望があり実現した一つとして「選書ツアー」や

「選書会」がありますよね。

スタッフ：はい。選書ツアーとは、年に1回、紀伊國屋書店(新宿南店)へ希望者と行き、購入したい本を探します。様々な種類の本から選んでいただけるので、学生さんには大好評です。

また、07年からは「選書会」を行っています。希望者を募り、皆で購入希望の本を好きなように選ぶことができます。

司会：実は様々な試みを行っているんですよ。もっともっと広報していきたいと思います。

スタッフ：そうですね。1階にある展示コーナーでも、この前「ソーラーカー特集」をしたのですが、皆さんお気づきになりましたか。

田中：あっ、見ました。

スタッフ：よかった(笑)。自動車システム開発工学科のソーラーカーが全国6位になったということで、その制作に関して使用した資料やソーラーカーの本などを展示していました。もちろん、それらの本も閲覧・貸出ができます。

今後も展示コーナーは充実させていきますので、こちらのほうもよろしくお願いします。



みんなに読んでもらいたい、オススメ本。

司会：当たり前のことですが、図書館には色々な種類の本があります。皆さんがオススメする本は何かありますか？

橋本：推理小説は比較的読みます。

図書館の活動

図書館では、図書館をより使いこなす、あるいは楽しんでもらえるような様々な企画を実施しています。昨年度は次のような企画を実施しました。

ライブラリーツアー

図書館の蔵書検索やデータベースの使い方を分かりやすく説明し、また館内各フロアをご案内するという企画。年2回、春と秋に実施しています。参加された方の要望やスキルに合わせて柔軟に対応しました。



選書ツアー

図書館にあったら良いなと思う資料を、実際に書店の店頭で手にとって選んでもらおうという企画。紀伊国屋書店新宿南店で、学生みなさんのご協力を得て行なわれました。

選書会

図書館1階に用意した数百冊の本の中から、“図書館にあれば良いな”と思うものを、その場で選んで頂く利用者参加型のイベントです。図書館の中に書店が引っ越してきたのを想像頂ければ分かりやすいかもしれません。学生・教員問わず、大学に所属していれば、どなたでもご参加頂けます。

スタッフ：資料だけでなく、文庫や最近では推理小説をはじめとして、ライトノベル系も購入しました。

司会：田中さんは剣道部ですよね？ 剣道がらみでオススメ本はありますか？

田中：読んだことはないのですが、ある高校の剣道部の監督であった所先生の本があるそうで、これを読みたいと思っています。図書館にあるのかな？

司会：じゃあこの座談会が終わったら、早速、蔵書検索で調べてみてください(笑)。

田中：他では株に関する本に興味があります。「波のうへの魔術師」という本は結構面白かった。

松本：私も株に関する本は書いています。どこかの文系大学の教科書になっているはずです。硬い本ですが(笑)。

山重：僕は「ほんばこ」(注:本誌)をオススメします(笑)。バイトをやっているので広報もしなくては(笑)。

あとは、村上龍は結構読みました。最初は友人から村上春樹を薦められていたのですが、同じ棚の村上龍にはまってしまいました(笑)。

司会：なるほど。偶然の出会いがあったわけですね。図書館っていいですね(笑)。

スタッフ：私は宮部みゆきさんをよく読みます。今度レビューにも書きたいと思います。

司会：宮部みゆきさんの本が増えたら何かの力が働いたと思ってください(笑)。冗談ですよ。

先生のオススメは？

松本：茂木健一郎さんの本は読んでみると面白いと思います。テレビとは違ったイメージを受けます。

現都知事の石原慎太郎さん「太陽の季節」も面白い。これは芥川賞を受賞していますが、そのあまりに過激な描写に賛否ありま

した。芥川賞受賞作品はある程度読んでおくのも良いと思います。

スタッフ：蔵書されていない小説や読みたい小説があれば、ぜひ購入希望を出してください。

図書館はみんなのもの、 みんなで創りあげていくものです。

司会：さて、時間も差し迫ってまいりましたので、最後に館長である松本先生から学生さんへメッセージをお願いします。

松本：神奈川工科大学の図書館は、理工系の大学図書館ということもあり、常に新しい技術や方法、サービスを取り入れ、進化しています。全国のお大学図書館も、色々な試みを実践し、変わってきているように、私たちの大学図書館も、スタッフは色々試行錯誤し、運営しています。

しかし、最も大切なのは、皆さん学生の意見です。よりよい図書館創りのため、みんなで頑張っていきましょう。

司会：本日は長い時間、お付き合いいただき、ありがとうございました。



企画展示

中央階段前の書架を利用して、以下のようなテーマで企画展示を行ないました。

大学や世間の動きに合わせ、かつ理工系以外のテーマでも設定。

活字だけでなくDVD、CDの展示、スタッフ手作りのPOPも活用し、来館された方に好評をいただきました。

ソーラーカー特集 (11月)



ソーラーカーレース 鈴鹿2007で6位入賞を果たした「KAITソーラーカープロジェクトチーム」に協力を頂いて、大会での体験談や、実際に研究に使用した図書などを紹介しました。

ホラー・心特集 (7,8月)



真夏の夜の過ごし方といえど怪談話です。古典から現代ホラーまで、古今東西の恐怖小説を集めた展示を行いました。また併設展示として、人間の「心」に関する資料の紹介も行いました。

※この他、下記のテーマで展示を行いました。

- 4月・5月 … 「はじめの一步」
「キャンパスアグリメント
ソフト参考資料」
- 6月 … 「モバイル特集」
「Let's Web Creation! 特集」
- 9月・10月 … 「文学賞」
「食べて健康、食欲の秋」
「どうぶついろいろ」
- 12月・1月 … 「選書ツアーに이었습니다」
「貸出ランキング&おすすめ本」
- 2月・3月 … 「VISUAL &
AUDIO CREATION」

フロアガイド

図書館は本を読んだり、貸し借りをするだけの場所ではありません。グループで使える部屋や、ゆっくりCDを聴けるコーナーがあったりと、便利で楽しい空間です。授業の合間の一時を楽しむもよし、1日ゆっくり過ごすのもよし。図書館の全てを紹介します。

1F

なんたって図書館の顔。
書籍から映像ソフトまで、なんでも揃う総合フロアです。

- ① カウンター
- ② コピー室
- ③ インターネット閲覧用・
所蔵検索用 PC
- ④ CD-ROM 検索用・
AV 資料検索用 PC
- ⑤ 個人視聴ブース
- ⑥ ビデオ・DVD
- ⑦ CD
- ⑧ 参考図書
- ⑨ 指定図書
- ⑩ 参考図書
- ⑪ 雑誌コーナー
- ⑫ 新聞
- ⑬ ブラウジングコーナー
- ⑭ 自由閲覧室
- ⑮ ⑩ 事務室

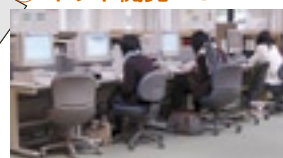


① カウンター



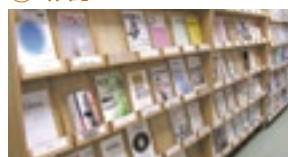
貸出や返却はもちろんのこと、図書館の利用について何でもお尋ねください。

③ ネット閲覧 PC



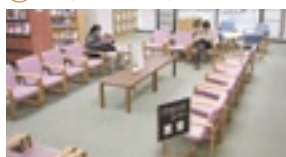
インターネットを利用でき、印刷も可能です（一人5枚まで）。
※ただし、メールや表計算ソフトなど、インターネット以外の利用はできません。

⑫ 雑誌コーナー



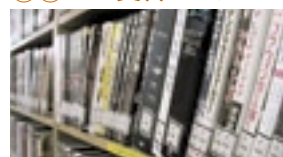
国内外の雑誌が多数あります。学術雑誌だけではなく、「週刊ベースボール」や「ぴあ」のような一般雑誌も閲覧できます。

⑭ ブラウジングコーナー



くつろいで新聞や雑誌を読みたいときに利用ください。（携帯電話での通話や飲食はご遠慮ください）

⑦⑧ AV 資料コーナー



DVD、CD、ビデオと様々なAV資料を揃えています。研究の参考に、授業の息抜きに利用ください。

書架になくても大丈夫。
まだまだたくさん、蔵書はあります。

B2F

- ① 書庫 (2)
- ② AV ホール
- ③ ドリンクスペース



B1F

- ④ 書庫 (1)

② AV ホール

100人まで利用することができます。充実した設備で、研究発表など大きな催しに対応可能。申込は1階カウンターまで。

③ ドリンクスペース

学習の合間にちょっと息抜き。飲料の自動販売機も利用にできます。（AVホール使用時は利用を停止させていただきます）

2F

とにかくその本の数に圧倒。
探検気分で本探しを楽しもう。

② 書架



高い天井に、抑え目の照明。落ち着いた雰囲気の中で、図書選びが楽しめます。

③ グループ閲覧室



友達同士で話し合いながら資料を見たいときはこの部屋。6人がけテーブルがあり、グループで利用できます。

④ 自由閲覧室



個人用デスクやLANの設備も完備。落ち着いて資料と取り組みます。LANケーブルの貸出は、カウンターで申込みください。



- ① 所蔵検索用端末
- ② 書架
- ③ グループ閲覧室

- ④ 自由閲覧室
- ⑤ CD リスニングコーナー・グループ視聴コーナー
- ⑥ 車椅子用トイレ

4F

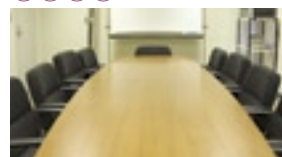
- ① 会議室
- ② 研修室
- ③ 特別閲覧室
- ④ パントリー

多様な部屋で、
ゆっくり静かに学習できます。

3F

- ⑤ ゼミ室 (1)
- ⑥ ゼミ室 (2)・院生閲覧室
- ⑦ グループ視聴覚室
- ⑧ 顧問室
- ⑨ ゼミ室 (3)
- ⑩ ゼミ室 (4)
- ⑪ 教職員閲覧室
- ⑫ 教育開発センター

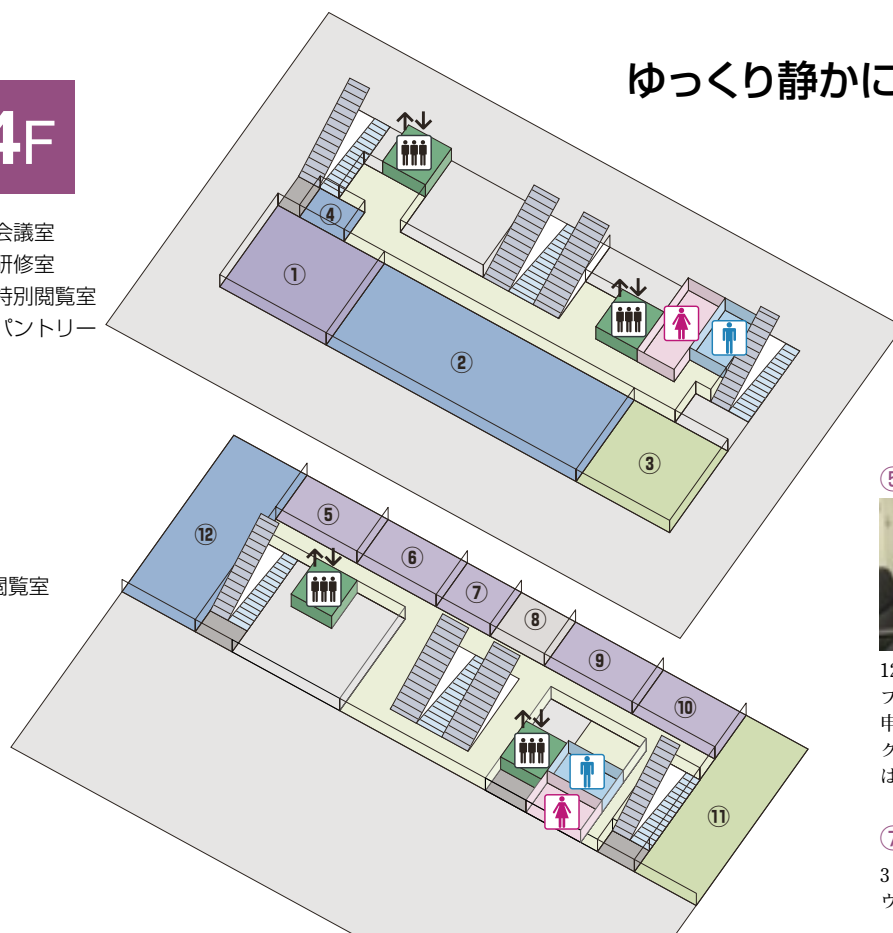
⑤⑥⑨⑩ ゼミ室



12人まで利用可能です。LANケーブル、ホワイトボード完備。利用申込は1階カウンターまで。(スクリーン・プロジェクターの利用は事前に問合せください)

⑦ グループ視聴覚室

3人から利用できます。一階のカウンターで申込ください。



利用案内

入館について

入館ゲートのセンサー部分に、学生証・モバイル学生証をタッチしてください。

※学生証をお持ちでない方は、カウンターへお申し出下さい。



資料の探し方

- 図書館資料検索用のPCをご利用ください。端末は2階から地下2階までの各フロアに設置してあります。
- 図書館のホームページからでも検索できます。「蔵書検索」ボタンをクリックして下さい。

図書を利用するとき

借りるとき

- 図書と学生証を1階カウンターにお持ちください。
- 返却期限の過ぎている本があるときは、貸出はできません。

貸出条件

一般学生	5冊	2週間
卒研究生	6冊	1ヶ月
大学院生	10冊	1ヶ月

※単位互換履修生は一般学生扱いです。

返すとき

- 1階カウンターにお返しください。
- 閉館時には、東口のブックポストをご利用ください。

継続して利用したいとき

- 借りている図書を継続したいときは返却期限内にその図書と学生証を1Fカウンターまでお持ちください。
- 予約の入っている場合、返却期限の過ぎている本がある場合は継続できません。

読みたい本が書架にないとき

- 貸出中の場合
予約をすることができます。予約申込書に記入し、カウンターへお持ちください。返却されたら掲示板にてお知らせします。
- 図書館に所蔵がない場合
購入希望を受け付けます。購入希望申込書に記入し、カウンターへお持ちください。購入の可否、また受入予定について後日掲示板にてお知らせします。
他大学の図書館や公共図書館を利用することもできます。詳しくはカウンターでお尋ねください。

雑誌・参考図書を利用するとき

- 学術雑誌・参考図書は、貸出をしておりません。館内でご利用ください。
- ただし、研究室で利用するなど特別な理由のあるときには、一夜貸出でご利用ください。返却は翌日の9:30までとなります。カウンターの「一夜貸出申込書」に記入の上お申送ください。

電子ジャーナルの利用について

外国の学術雑誌を中心とした電子ジャーナルが利用できます。

- 図書館のホームページの「電子ジャーナル」の項目を開いてください。
- 外国のジャーナルは「外国雑誌電子ジャーナルリスト」から検索出来ます。本学で利用可能な電子ジャーナル(2500タイトル)を、タイトル、ISSN、主題から検索することができます。日本のジャーナルは「J-Stage」から検索できます。著者名、キーワード、タイトルで検索することができます。
- 利用の際はホームページの「電子ジャーナルの利用にあたって」をご覧ください。

AV資料を利用するとき

- AV資料を館内で視聴するときは、AV資料コーナーにある視聴申込書に記入のうえ、カウンターで手続きをして下さい。
- CDのみ館外貸出が出来ます。(1人5点まで、1週間)利用したいCDと学生証をカウンターにお持ちください。
- 借りたいCDが館内にない場合、図書と同様に予約・購入希望ができます。申込書に記入の上、カウンターへお持ちください。

コピーをしたいとき

- コピーの際は複写申込書に記入し、カウンターでお申送ください。1枚10円です。
- 必ずコインをご用意ください。両替機は設置しておりません。また、カウンターでの両替も致しておりません。
- コピーできるのは、本学図書館の所蔵資料に限ります。
- コピーの際は、著作権法に則って行なってください。
- 雑誌の最新号は、コピーできません。

キャンパスアグリーメントソフトの貸出について

- 図書館では、マイクロソフトのキャンパスアグリーメントソフトの貸出を行なっています。
- 利用できるのは本学の在学生(研究生、科目等履修生含む)、専任教職員(客員教授、ポストドクター、嘱託・臨時職員含む)です。
- 貸出は1人3点まで、返却は翌日の12時です。
- ソフトはカウンター内に置いてあります。利用の際は学生証・身分証明書を提示して必要なソフトを指定してください。
- 貸出中のソフトは予約をすることができます。



図書館
スタッフ
から

神奈川工科大学附属図書館 へようこそ!

図書館では、膨大な情報量に囲まれる現代、利用者の皆さんの調べたいことを、専門のスタッフが早く的確に入手する「ツール」の提供のお手伝いをします。

そのために、館内の資料の選定やデータベースの整備に努めています。

「工科大学」というと、専門分野の図書ばかりと思われがちです。理工系・情報系図書や雑誌・電子ジャーナルなど、専門分野の図書や資料が中心ではありますが、ベストセラーの本をはじめ、ビジネス、文学、趣味や芸術の図書、雑誌、CD、ビデオ、DVDも数多くあります。公立図書館では予約待ちの図書も、すぐに閲覧することができます。

また、社会の動きや季節にあわせた「企画展示」、利用者自ら図書館の蔵書づくりに参加する「選書ツアー」といった楽しい館内企画も行っております。

落ち着いて自分なりの時間を過ごし、じっくり勉学に集中してもらえるように、快適な雰囲気作りに力を入れ、「使って便利、来て楽しい」そんな図書館になっていると自負しております。

神奈川工科大学の学生、教職員はもちろん、厚木市民の方、企業の皆さん、お気軽に図書館をご利用ください。

ご来館を心からお待ちしております。



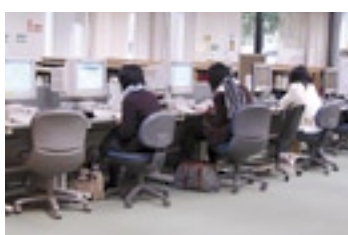
インターネットの利用について

図書館に設置されている端末で、インターネットを使用することができます。

- 利用は原則として30分以内となります。混雑時にはゆずり合ってご利用ください。
- 印刷もできます（1人5枚まで）。印刷用紙はカウンターでお渡ししています。
- フロッピー、リンパーブルディスクなどの利用はできません。
- 電子メールソフトは利用できません。
- また、Word、Excelなどのソフトもご利用できません。
- 設定を変えないようにお願いします。

また、ご自分のノートパソコンを持ち込んで利用することも出来ます。LANケーブルをカウンターで貸出しております。申込書に記入の上、学生証を提示してご利用ください。

※持ち込みのパソコンをご利用の場合は、印刷はできません。



レファレンスサービスについて

レファレンスサービスとは、文献の探し方、データベースの使い方など、図書館の利用に関して分からないことの質問・調査に応じるサービスです。

「○○というテーマの参考資料を集めるにはどのような方法があるの?」「論文のタイトルは分かるのだけど、どの資料に収められているか分からない」など、相談したいことがありましたら、お気軽にカウンターへお尋ねください。理工系以外のご質問でも、どうぞご相談ください。

駅伝に青春をかける、 ダメ大学生達の成長物語



「風が強く吹いている」

三浦しをん ○新潮社・刊

すばらしい長距離ランナーでありながら、高校陸上部での事件がきっかけで走る場を失った大学1年生の走(かける)。街を彷徨うように走る日々だったが、ある春の夜、転機が訪れる。同じ大学に通う4年生の清瀬に声をかけられ、しぶしぶと清瀬の住む学生寮・竹青荘の住人たち(陸上に関してはシロート同然!)といっしょに箱根駅伝を目指すことに……。

漫画コレクターで運動音痴の「王子」、クイズマニアでテンションの高い「キング」……圧倒的にキャラの濃い登場人物たちとテンポの良いストーリー展開に、いやおうなく引き込まれてしまう作品です。現在マンガ化され、週刊ヤングジャンプにて連載中ですので、マンガと原作を読み比べても面白いかもしれません。

お正月に箱根駅伝を見る方も見ない方も、ぜひ!

もうひとつのまる子ちゃん さくらももこの傑作エッセイ



「あゝころ」

さくらももこ ○集英社・刊

ちびまる子ちゃんの作者が、少女マンガでは描けない幼少時代を大人の目線で書いたエッセイ3部作「ものかんづめ」「さるのこしけ」「たいのおかしら」に続く、まる子だった頃をつづる新エッセイシリーズの第一作目。

30〜40歳くらいの人にはきっと、「ああ、自分もこんなことあったなあ…」と思える事柄がいっぱいだと思いますが、20代くらいの人には、「え?そんなことが起きるのか!」という予想できないストーリーが待っています。

また、大人になって結婚をした作者から見た、昔の自分と家族を見つめなおすといった場面があり、読者の立場としても自分と家族の関係を考えさせられる作品です。

みなさんも、一度、ちびまる子ちゃんの「あゝころ」を読んで、自分の「あゝころ」を思い出してみませんか?

『考えるための教科書』です。 大学生からの哲学にもオススメ



「14歳からの哲学」

池田晶子 ○トランスビュー・刊

この本は哲学について書かれています。一般的に『哲学』というと、かなり構えて読まなければならないと思ってしまいますが、この本は哲学するということを、誰もが思いあたるような事柄で、日常の言葉を使って示しています。『考える』『自分とは誰か』『心はどこ

にある』『家族』『規則』『友情と愛情』『自由』『人生の意味』等について、全て著者の問いかけに、読者がどう考えていくか?という形で本文が進められ、それは、まるでパズルを解いていくような感覚です。

この本をきっかけとして、普段当たり前に思い解っているつもりでも、本当はどういうことなのかを知るために、考えてみるのもいいのではないのでしょうか。

“お茶の水博士”に“お蝶婦人”、 彼らはなぜあんな話し方をするか?



「くもっと知りたい! 日本語> ヴァーチャル日本語 役割語の謎」

金水 敏 ○岩波書店・刊

『名探偵コナン』の「服部平次」は、なぜ主役になれない? 『エースをねらえ』の“お蝶夫人”は、なぜお嬢様ことばを話す? その答えはこの本の中にあります。

では、次の文を読んでどう感じますか?

「親じゃと? わしはアトム親の親がわりになっとるわい!」「ああ、かわいそうに。チューパッカ、彼を修理できて?」

どちらも文章の上では違和感なく読むことができますが、でも実際にこんな口調で話す博士や女性の実在するでしょうか?

日常で話されることなく、映画や小説など創作物でのみ使われる日本語を、作者はヴァーチャルな日本語として分類しています。

現実には存在しない日本語を、私たちはなぜ不自然に感じないのか。

本書は、そんな日本語の不思議を解き明かしてくれる1冊です。

ひたむきでどこまでも瑞々しい! 14歳を描いたオムニバス短編集



「4TEEN=フォーティーン」

石田衣良 ○新潮社・刊

ナオト・ダイ・ジュン・テツローの4人組は、どこにでもいそうな中学2年生。そんな4人のうちのテツローを主人公に、ひたむきで、時に傷つきやすくもある、どこまでも瑞々しい14歳の感性と世界観を鮮やかに描き出した作品。第129回直木賞受賞。

登校拒否で拒食症のクラスメートとの繊細な恋がテーマの『月の草』、周りからうとうしがられるほどお調子者な放送委員が起こす事件を描いた『飛ぶ少年』、15歳を迎える4人が親にヒミツで2泊3日の自転車旅行をする『十五歳への旅』など、短編8本が収録されています。それぞれ一話完結型で読みやすいので、石田衣良さんの本を初めて読む方にも、おすすめです。

著者には、『池袋ウエストゲートパーク』『アキハバラ@deep』など映画・ドラマ化された本も多数、これもぜひ手に取ってみてください。

えいが は エイゾ

DVDならこれを観ろ!

放送研究会
が
選ぶ

請求記号: DVD/ラ/163

「ラストサムライ」

侍達の誇りを突き通す戦いに感動!
渡辺謙を世界に送り出した、超話題作



DVD「ラストサムライ 特別版」
¥3,129(税込)
発売・販売元:ワーナー・ホーム・ビデオ

19世紀後半、近代化を図る日本政府とそれを拒む反政府の侍集団、そして政府に外国人軍事顧問として招き入れられ、侍の生き様に魅せられてゆく主人公のネイサン。激動の時代に流される人々を描いた作品です。

まず、この映画の素晴らしいのは海外制作の映画にも関わらず、他の作品に見受けられる日本への勘違いや偏った考えなどが無く、演技から衣装・舞台セットまで忠実に再現しており一線を画します。

最大の見所は何と言っても戦闘シーン。通常暴力的で残酷になりがちですが、この作品は一味違います。政府軍率いる銃や大砲や機関銃、対する侍たちは刀や弓。奇策を講じるも、最後はその圧倒的な力と数の前に散る。侍たちのはかなく、切ないながらも時代に流されること無く、自らの命を懸けて誇りと魂を貫き通す戦いは感動を覚えます。

また、最後の明治天皇の大臣への切り返しは爽快で私の一番好きなシーンです。

請求記号: 913.64Y

純粋に平和を愛する
とてつもなく優しいロボット小説



「アイの物語」

山本 弘 ○角川書店・刊

『このSFが読みたい! 2006』で第2位に輝いた作品です。

これまで物語の中でロボット(人工知能)たちは、人類の敵になり、己の存在理由に苦悩し、人間との共存を望みました。それはまさに人間社会の縮図そのものだったのかもしれませんが。

『鉄腕アトム』が誕生して半世紀、人間は未だ争いを止めません。しかし、この物語に登場するロボット(AI)たちは、人間の誰よりも純粋に平和を愛し、ヒトを愛します。そして希望を失いません。なぜならば、人間の夢、物語から生まれた存在だからです。

本来、物語(夢や想像力)は、希望に満ちたものであったはずですが、『ヒトが海を「生命のふるさと」と呼ぶように、ヒトの夢、フィクションの海は私たちのふるさとなのよ』。この台詞に全てが集約される、とてつもなく優しいロボット小説です。

請求記号: DVD/ア/223

「APPLE SEED」

日本のCGアニメもここまで来た!
原作を読まなくても楽しめます



DVD「APPLESEED」
¥3990(税込)
発売・販売元:
ジェネオン エンタテインメント

2004年に劇場公開された荒牧伸志監督のフルCGライブアニメーションムービー。所々、原作の漫画を見ていないと解らないネタもありますが、見てない自分でも結構楽しめます。

最大の見所はなんと言っても滑らかに動く3Dアニメーション。アクションシーンなんか動くわ動く、それも自然に。それもその筈、登場人物の動きにはモーションキャプチャを使用し、実際の人間の動きに限りなく近い動作を再現しているから。顔の造形もトゥーンシェーダーと呼ばれる、3DCGをセルアニメのように変換する技術を用いており、賛否両論ありながらも自分は十分に感情移入することが出来ました。

2007年10月には、この作品の続編である「EX MACHINA」が公開されており、そちらも是非ご覧になることをお勧めします。

請求記号: DVD/ソ/246

「SAW」

シチュエーションスリラーの傑作
人気シリーズの第1弾!



ソウ DTSエディション
¥3990/税込
発売:アスミック

目が覚めると、部屋の中央には死体。対角線上には足を鎖で繋がれた二人の男。犯人は「君たちは死につくある」「助かる方法は6時までに相手を殺すか、自分が死ぬか」と言い渡され突如として始められたゲーム。

(c)2004 Saw Productions, Inc.

与えられたのは、テープレコーダー、着信用携帯電話、2本のノコギリなど。二人は犯人が部屋に残したヒントを手掛かりに脱出しようとする。

一方、「ジグソウ」と言う謎の猟奇殺人鬼がいた、ジグソウは罪を犯した人間に罰(死)を与え、ある条件をクリアすればその罰(死)を免除している。そんなジグソウを追って刑事とその相棒その異様な殺人現場に残された手がかりをもとに、二人はジグソウを追い詰める。回想と謎解きを交えながら驚愕の結末を迎えるソリッドシチュエーションスリラー作品。

見所は、次々と見つかる道具とヒントに奮闘する男たちと巧妙に仕掛けられた罠の数々、そして予想できないラスト。

請求記号：CD 洋 / ジ / 2278

ジェイムス・ブラント 『back to bedlam』



○レーベル：
ワーナーミュージック・ジャパン

「back to bedlam」はジェイムス・ブラントの記念すべきデビューアルバムです。ジェイムス・ブラントは元イギリス陸軍に所属していたという異色の経緯を持つシンガーソングライターで、彼のヒットナンバーとなった「You're Beautiful」は全米シングルチャートナンバーワンにもなった曲です。日本でもCMやドラマで使われたため、知っている人は少なくは無いはず。

もし知らない人がいれば、このアルバムを手にとって一度は聞いてほしい。心に響く歌詞が多く、彼の世界観に魅了されるはずだ。

PE'Z

『REALIVE TOUR 2002 ～おどらにゃそんそん～ in TOKYO』



○レーベル：東芝 EMI

まるでライブ会場にいる様な雰囲気になれるこのアルバム。

トランペット・サックスの軽快なリズム、ずっしりと響くドラム、曲の軸となるベース、全体を引き立てるキーボード、これらが一体となって聴くものを圧倒させ、ジャズでありながら踊りだしたくなるような曲の数々に引き込まれることは間違いないはず。

アップテンポなナンバーが主体のこのアルバムで特に聞いて欲しいのは、M-05「Boomerang Boogie～南風堂の叔父さん～」、M-07「collective mode」。この二曲を聴けばPE'Zの持つ雰囲気を感じ取れます。

一度でも曲を聴けば、PE'Zというバンドの存在感を嫌というほど（良い意味で）味わえるのだから。

楽番
知●知

オーディオ
研究会
が選ぶ

CDならこれを聴け!

請求記号：CD サ / キ / 1571

『キーボードマニア 3rd MIX オリジナルサウンドトラック』



(C) 2001 Konami Digital Entertainment Co., Ltd.

○レーベル：コナミ

普段、テクノやトランスを聴かない人にお勧めしたいのがこのCD「キーボードマニア3rd MIX オリジナルサウンドトラック」です。

元々はキーボードマニアというゲームで使われていたものなのですが、「キーボードマニア」と言う割にキーボードがメインでない楽曲もあり、様々なジャンルの曲があってなかなか楽しめるCDです。一曲、一曲ジャンルが異なるため、人それぞれにお気に入りの曲が違ってくるのも面白いところ。

私がお勧めするのは、ゆったりしたジャズのM-15「Smoky Town」と、大抵の人が知っているであろうM-17「エリーゼのために」。ヒーリングミュージックとしてこの二曲は最適です。

また、このCDのほとんどの曲が器楽曲のため、作業中にBGMとして聴くにもぴったりです。

請求記号：CD / サ / 2014

『ギターフリース & ドラムマニア ベスト・トラックス』



(C) 2003 Konami Digital Entertainment Co., Ltd.

○レーベル：
コナミミュージックエンタテインメント

お勧めしたいのは、このCD「ギターフリース&ドラムマニア ベスト・トラックス」。これはゲームのサウンドトラックですが、知らない人が聴いても十分満足できる内容となっています。

ロック、ジャズ、スカなど、幅広いジャンルの曲があるため、飽きることなく聴くことができます。

私自身がロック好きのため、このアルバムの中でお勧めしたいのはロック色の強いDISC2のM-05「SUZY AND THE TIME MACHINE」。ロックというより、ロックンロールという言葉が似合うM-12の「Heaven is a '57 metallic gray」。ちょっと変わった感じのM-45「三毛猫ロック」もお勧めです。

様々な音楽を聴きたい人にはぴったりのCDです。

他館の利用について

利用したい資料が本学にない場合は、他の大学・公共図書館を利用することができます。

○ 私工大加盟館の利用について

下記の私工大加盟図書館では、個人貸出が出来ます。ホームページ、または図書館カウンターにて利用条件をご確認ください。

足利工業大学附属図書館

埼玉工業大学図書館

湘南工科大学附属図書館

東京工科大学メディアセンター

東京電機大学総合メディアセンター（神田・千葉・鳩山）

日本工業大学図書館

工学院大学図書館（新宿・八王子）

芝浦工業大学図書館（豊洲・大宮）

千葉工業大学附属図書館（芝園・津田沼）

東京工芸大学中央図書館

東京理科大学図書館（神楽坂・野田）

武蔵工業大学図書館

○ 神奈川県内大学図書館の利用

共通閲覧証をお持ちの方（大学院生、教職員のみ）は、神奈川県内大学図書館相互協力加盟館で閲覧することができます。

共通閲覧証の発行、利用についてのお問合せ等はカウンターへお願い致します。

○ それ以外の大学図書館について

上記以外の大学図書館を利用の際は紹介状が必要となります。

紹介状の発行はカウンターでお申込ください。詳細はレファレンスの項目をご覧ください。

○ 厚木市立図書館の利用について

本学の図書館で、厚木市立図書館で所蔵する図書・雑誌の貸出が受けられます。カウンター備付の予約カードに記入の上お申込ください。

学外の方へ

市民・企業の方は、下記の要領で本学の図書館をご利用いただけます。

■厚木市の「マイタウンパスポートカード」
（紺色の「パーソナルカード」）又は厚木市立図書館の利用者カードをお持ちの方



＊利用できるサービス＝資料の閲覧、
複写、所蔵検索（※貸出はしていません）

＊利用方法＝図書館カウンターで市立図書館のカードをご提示
いただき、申込書に必要事項をご記入ください。

※ご注意

- ・「マイタウンパスポートカード」は、紺色の「パーソナルカード」以外のカードはご利用いただけません。
- ・携帯電話の画面に表示される2次元コードでは、本学の図書館はご利用いただけません。必ずカードをお持ちください。

○ 上記以外の市民・一般企業などの方

＊利用できるサービス＝資料の閲覧、複写、所蔵検索

＊利用方法＝所属機関（もしくはお近くの公共図書館）の発行する紹介状が必要です。

図書館カウンターで紹介状を提示の上、申込書に必要事項をご記入ください。

お問合せは本学図書館までお願い致します。

●バス時刻表（本厚木駅→神奈川工科大学）

神奈川中央交通 / 「本厚木駅」1番のりば発									
厚 07 厚 89 神奈川工科大学方面									
時	平日					土曜	日曜		
6	40#								
7	02	08#	22	28#	42	40#	55#	30#	30#
8	02	10#	25#	40	45#	55#		00	30#
9	07	17#	30#	40	52#			00	30#
10	04#	14#	24#	39	54#			02	32#
11	09#	24#	39	54#				02	32#
12	09#	24	39#	54#				02	32#
13	19	49#						02	32#
14	19	49#						02	32#
15	19	49#						02	32#
16	14	39#						02	32#
17	04	34#	57					02	32#
18	14#	37	57#					02	32#
19	13	36#	53					02	31#
20	18#	43						01	31#
21	08#	33						01	31#
22	26							01	

無印…… 厚 07 神奈川工科大学方面青年の家行

…… 厚 89 神奈川工科大学前經由鷺尾団地行

●厚木市立中央図書館



○住所 厚木市中町 1-1-3 厚木シティプラザ2～4階、地下1階

○交通案内 小田急小田原線本厚木駅下車東口から徒歩1分。

●交通のご案内



●学内のご案内



●2008年度図書館カレンダー

○開館時間(通常) / 平日 9:00~21:00
土曜 9:00~17:00

○休・閉館日 / 日曜日・祝日、
冬季休暇、蔵書点検中の一定期間、
その他大学の指定する日
※詳細は図書館HPIにてご確認ください

○は休館日

2008

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

春期開館時間 9:00~17:00

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

夏期開館時間 9:00~17:00

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

学園祭期間開館時間 9:00~17:00

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

冬期開館時間 9:00~19:00
*12/28~1/5 冬期休業期

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2・3月期開館時間 平日 9:00~19:00 土曜 9:00~17:00

蔵書点検開館時間 閉館

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

*21日 卒業式

春期開館時間 9:00~17:00

神奈川工科大学附属図書館
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY LIBRARY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 TEL.046-291-6221 FAX.046-242-6111

<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~I4017/lib/index.html>